Radical VOL.24 SBS RADIO NEWS LETTER
SBS RADIO
2019年8月15日発行

この夏、SBSラジオは「こども」が主役！

（写真左）パーソナリティ・二村豊人さんと記念撮影　（写真右）天気予報の原稿を読む小学生

この夏のSBSラジオは、「こども」が主役です。ラジオ局が自主企画した「こども天気予報」のほか、静岡新聞SBSが主催する「夏休み家族ふれあい体験会」にも参加。子どもたちの声を収録した「ジングル」作りに取り組むなど、小学生とその家族に《感動体験》を提供し、《ラジオファン》になってもらうための取り組みに力を入れています。

まずは、「こども天気予報」を紹介します。当企画は、夏休みに子どもたちが《ラジオで放送体験をする》というもので、生ワイド番組『聴くディラン』午後3時台の「天気予報」を8月5日から9日までの5日間、「こども天気予報」として放送しました。毎日一人の子どもがアナウンサーやパーソナリティに代わって「天気予報」を伝えてくれました。

参加した子どもたちは小学3年生から6年生のラジオ好きな子どもたち。数多くの応募者の中から選ばれただけあって、リスナーにとって重要な「天気予報」をしっかりした言葉で伝えてくれました。

（写真左）アナウンス原稿を読む様子　（写真右）ディレクターの合図に合わせてしゃべり出す小学生

また、子どもたちに新聞社や放送局の仕事を体験してもらおうと、静岡新聞SBSが毎年開催している「夏休み家族ふれあい体験会」が８月６日、９日の２日間行われ、小学4年生から6年生とその家族約４０組が参加しました。

新聞、テレビ体験では、パソコンで新聞紙面を組んだり、アナウンサーによる発声練習、放送用のカメラに触れるなど、普段体験することのない貴重な機会に、子どもたちは目を輝かせ取り組んでいました。

SBSラジオは、番組内で楽曲やコーナーの切り替わりなどの節目に挿入される「ジングル」のコメント収録体験を行ないました。録音スタジオで、初めてマイクを前にしゃべることを体験した子どもたち。緊張する子もいましたが、ほとんどの子どもたちは元気よく、上手に話すことができ、素晴らしいジングルが出来上がりました。このジングルは、8月19日から30日までの期間、朝の生ワイド番組『IPPO(いっぽ)』内で放送します。

SBSラジオは、今後も放送やイベントを通じて、子どもたちの成長に貢献して参ります。

〒422-8033 静岡県静岡市駿河区登呂3-1-1
TEL 054-284-8961　FAX 054-284-9021
http://www.at-s.com/sbsradio/